

ER-CompleteSM

あなたにとって適切な
胚移植のタイミングと環境を



CooperSurgical[®]
Fertility Solutions

子宮内膜について

月経周期を理解しましょう

子宮内膜は子宮の内側を覆う組織です。月経周期中、子宮内膜は妊娠に備えて肥厚します。妊娠が起きなかった場合は子宮内膜が剥がれて、次の月経周期が始まります。

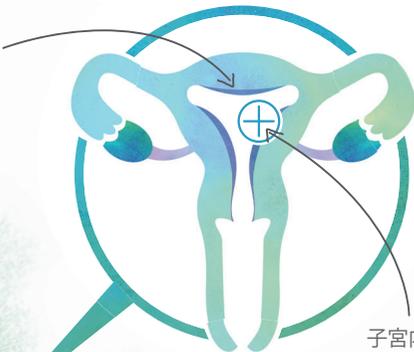
胚は肥厚した子宮内膜に着床し、発育に必要な酸素と栄養を受け取ります。子宮内膜の状態が着床に適していない場合は、良好な胚であっても着床できない可能性があります。

子宮内膜の環境が整い、胚の着床に最適な状態であるかどうかを確認することは不妊治療の助けとなる可能性があります。これを、子宮内膜の着床能といいます。



ER-CompleteSMは、あなたに合わせた胚移植のタイミングや、胚の着床のために最適な環境を確認するうえで役立つ可能性があります。

子宮



子宮内膜

体外受精（IVF）で胚の着床が成功するには、胚と子宮内膜との相互作用が重要であることが研究で明らかになっています¹。



子宮内膜の着床能を確認することが重要な理由とは？

子宮内膜の検査は、次のような患者さまに役立つ可能性があります

- ・ 移植をお考えの胚の数に限りがある患者さま
- ・ 子宮内膜が胚移植に適切な状態かどうかを知りたい患者さま

ER-CompleteSMは、胚移植に適切な子宮内膜のタイミングと環境を確認するのに役立ちます。

ER-CompleteSMで可能なこと

ER-CompleteSMは、子宮内膜の少量を生検（検体を採取）して実施します。この検査では、医師によって子宮内膜の状態を把握し適切な処置を判断することができると考えられます。



- ・ あなたに合わせた胚移植のタイミング
- ・ 子宮内膜環境の状態の把握
- ・ 子宮内膜に存在する特定の微生物の有無の把握

ER-CompleteSMは

ERPeakSM検査とERBiomeSM検査を組み合わせ、あなたの子宮内膜の着床能に関する情報を提供します。



ERPeakSM

ERBiomeSM

ERPeakSM検査とERBiomeSM検査は、個別に実施することも可能です。

ERPeakSM 検査

適切なタイミングは胚移植を成功させるためのカギです。

子宮内膜の着床能は、着床の窓（WOI）と呼ばれる期間に最も高くなります。体外受精を実施している場合、WOIは通常、プロゲステロンの服用を開始してから5日後です。一般的には、これをP+5と呼び、担当医師はこの日に胚移植を予定します。

しかし、一部の女性では WOI がその前後にずれることがあります。（P+4、P+6 など）

ERPeakSM検査で可能なこと

ERPeakSM子宮内膜胚受容期検査は、患者様のWOIのタイミングを特定するお手伝いをいたします。

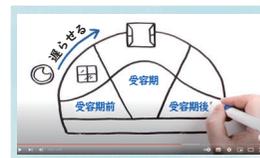


着床の窓

反復着床不全の女性の
43.5%

反復着床不全の女性の43.5%に着床の窓（WOI: Window Of Implantation）のずれが認められており、これが原因で胚が着床しない場合があります²。

WOIをどのように特定して胚移植の成功率の向上に役立つかを説明する動画をご提供しています。



リンク先の動画をご覧ください。

<https://coopersurgicalfertility-jp.com/erpeak-endometrial-receptivity-test/>

ERPeakSM検査の臨床データ

550名の患者様を対象とした臨床試験において、ERPeakSM検査の結果を元に医師が胚移植を判断した患者様とそうでない患者様では、各結果に有意な差が認められました²。



ERPeakSM 検査の結果

簡単な結果解釈



受容期前

子宮内膜は胚着床の準備ができておらず、受容期ではないようです。胚移植は子宮内膜の生検を採取した時期よりも後に実施されることが推奨されます。



受容期

子宮内膜は胚の受容に最適な時期です。胚移植は子宮内膜の生検を採取した時期と同じ時期が推奨されます。



受容期後

子宮内膜は、胚の受け入れに最適な時期を過ぎています。胚移植は、子宮内膜の生検が実施された時期よりも早く実施される事が推奨されます。

非受容期（着床の窓のずれ）

子宮内膜は着床に適していない状態です。治療の選択肢と今後の方針について担当医師とご相談ください。検査結果を確定するため、2回目の生検の実施が推奨される場合があります。



ERBiomeSM 検査

適切な環境は胚移植を成功させるためのカギです。

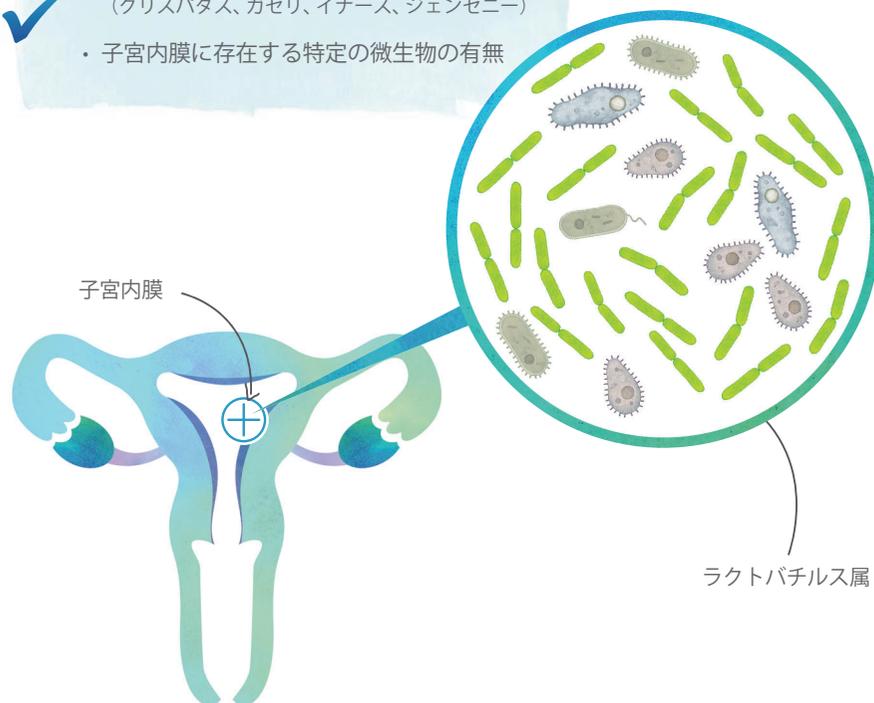
子宮内膜の微生物のバランスが崩れることは炎症や好ましくない環境の原因となり、着床に悪影響を及ぼす可能性があることが研究により示されています³。

子宮内膜に特定の細菌（ラクトバチルス属）が存在することで、胚着床率の向上などの良好な結果と関連していると言われています。子宮内膜にラクトバチルス属が90%以上存在すると、着床率が高まることが知られています^{4,5}。

胚の着床に悪影響を及ぼす可能性がある微生物（病原体）が存在すると、着床率が低下し、他の深刻な健康被害を引き起こされることもあります^{4,5}。

ERBiomeSM検査でわかること

- ラクトバチルス属（4種）の割合（クリスパタス、ガセリ、イナース、ジェンセニー）
- 子宮内膜に存在する特定の微生物の有無



ERBiomeSM 検査の結果

簡単な結果解釈

ラクトバチルス属の優位・非優位の結果とともに、胚の着床に悪影響を与えることが知られている子宮内膜に存在する微生物の検出結果を報告します。



ラクトバチルス属優位（好ましい子宮内膜環境）：

ラクトバチルス属の割合が **90%** 以上であると確認されました



ラクトバチルス属非優位（好ましくない子宮内膜環境）：

ラクトバチルス属の割合が **90%** 未満であると確認されました

あなたの担当医師が結果をご説明し、推奨される治療の提案がなされます。

ERBiomeSM検査は、スクリーニング検査とみなされており、いかなる疾患の診断又は治療にも単独で使用することはできません。



ER-CompleteSMのサポート

ER-CompleteSMについては、担当医師もしくは医療スタッフにお尋ねください。



References

1. K. Diedrich, B.C.J.M. Fauser, P. Devroey, G. Griesinger, on behalf of the Evian Annual Reproduction (EVAR) Workshop Group, The role of the endometrium and embryo in human implantation, Human Reproduction Update, Volume 13, Issue 4, July/August 2007, Pages 365–377
2. Ohara et al, Clinical relevance of a newly developed endometrial receptivity test for patients with recurrent implantation failure in Japan. Reprod Med Biol, 2022
3. Toson, Bruno et al. "The Endometrial Microbiome and Its Impact on Human Conception." International journal of molecular sciences vol. 23,1 485. 1 Jan. 2022, doi:10.3390/ijms23010485
4. Moreno et al, The diagnosis of chronic endometritis in infertile asymptomatic women: a comparative study of histology, microbial cultures, hysteroscopy, and molecular microbiology. Am J Obstet Gynecol. 2018
5. Elnashar, A.M. Impact of endometrial microbiome on fertility. Middle East Fertil Soc J, 2021

©2023 CooperSurgical Inc. All Rights Reserved

記載事項はいずれも発行時の最新情報です。検査は Reprogenetics、Recombine、Genesis Genetics 又はその他、CooperGenomics 社と提携関係にある臨床検査施設で実施されます。

患者様用サイトはこちらから



CooperSurgical[®]
Fertility Solutions